

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 味噌商事株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・月初日営業日夕礼を開催し、状況の報告、連絡を取り合い現状を共有し当月の問題点を共有している。 ・資料はメールで転送し各営業で共有している。								8	9												17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・営業車の運転が多い為、道路交通法の遵守を夕礼毎に指示している。 ・取引に必要な注文書及び請求書については内容確認し滞りなく授受することを心掛けている。																				16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正取引を進め、従業員が常に正当な取引が進められるように価格の設定を適正に設定するよう指示をしている。 ・仕入先に対して公平に対応するように不定期に聞き取りをして状況を確認している。										10										16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・所長を委員長として4名で安全衛生委員を構成し業務上の企業活動が社会・環境への影響が無いチェックしている ・顧客からの依頼による商品を手配する業務であるが著しく社会、及び環境に悪影響がある製品等の選択があった場合に適正な製品への変更を提案し納入した製品が与える影響を最小限にとどめるようにしている。																					16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権等の侵害が無いように、確認後文書、Web等へ掲載するようにしている。 ・機密漏洩につながる印刷物はシュレッダーにて処理しリサイクル業者に提供している。								8.2 8.3	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・使用した情報漏洩が無いように保管庫に保存し、一定期間の後適切に処分している。 ・各営業に個人情報漏洩の無いように都度口頭で指示をしている。																				16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・取引先(仕入先、販売先)との価格の急激な変動の公表、規格、取り扱い条件の変更の情報を共有し悪影響が無いかどうか各営業主体として対応している。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・仕入れ商品の選択時に著しく環境に影響を及ぼすと思われる製品を排除している。 ・取引に際して商品を販売及び仕入をする際にその代価として金品の授受が行われないように指示している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内では差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・給湯給茶サービスの女性による提供を廃止し各自適時飲料を準備している。 ・男女の区別なく適切な言動で会話を進めるように指示している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・全国安全週間、全国労働衛生週間の際にパトロールに参加し労働環境の把握し、改善指示事項があれば直ちに改善している。 ・日常の気づきに関しては報告を受けその都度処理をしている。			3				8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・営業のみの職場で同等の労働条件で差別なく就業している。					5.5			8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・完全週休二日制とし、定時での出勤退社を実施している。 ・働き方改革を実践し有給休暇の取得を奨励し不足が生じないように指示をしている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・新商品の講習会及び現地試験施工等の機会に積極的に参加している。				4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・年三回(腹部超音波検診、一般検診、生活習慣病予防検診)を全額負担で受診し傷病による欠勤等を最小限にしている。			3					8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・募集に対して当該応募者があった場合積極的に受け入れをしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●					3					8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●										8	9.1		11	12									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4			8	9			12									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 味噌商事株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の分別供出をしている。(プラスチック製品、金属製品、紙製品等有価資源ごみとして供出できるもの) ・PCB含有が懸念され理製品については2021年3月までに調査済みで証明書を保管している。			3.9			6.3					11.6	12.4			14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所の蛍光灯をすべてLED化している。 ・外出時の消灯を実施している。 ・【予定】エネルギー使用量の把握については2023年3月頃までに実施する。							7.3								13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・冷暖房の使用を極力少なくし、夏場の窓の開放で放熱を促している。 ・【予定】温室効果ガスの排出量の把握については2023年3月までに実施する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・取扱商品(特に緑化資材)を選択する際に生分解性のある材料を使用した商品や、酸性土壌アルカリ性土壌を中和させる機能を持った商品で自然環境に悪影響を与えにくいように選択している。						6.6										14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・印刷ミス、コピーミスの用紙の裏を使用している。 ・機密漏洩につながる印刷物はシュレッダーにて処理リサイクル業者に提供している。										9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・洗車用の水とトイレの洗浄用の水は自社の井戸よりくみ上げて水を使用している。 ・【予定】2022年中に流出油対策商品(分解剤、吸着マット)を常備する。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5					14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・fax及びコピー用紙は「森林認証紙」「ECFパルプ」「合法性・持続可能性を確認したパルプ」のマークが入った製品を使用している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4									12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7				13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5				13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13			15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2				13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 味噌商事株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・取扱商品は使用承認を得た上で、試験成績表とともに提供している。			3.9						9			12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社屋の玄関部の段差が無いようにしている。 ・2階にある事務所へのエレベーターの使用ができるようにしている。									9.1	10	11.7											17	
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・地元森林組合生産商品を仕入販売し、森林開発のもととなる肥料木、法面緑化資材を販売し持続的な森林利用を促している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15						17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15								
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・廃棄物の削減と労力軽減のため視線誘導標をより設置し易く、破損時の交換がしやすい製品を販売している。 ・生態系保全の為緑化製品を地元の植生に近い植生となるような製品を販売している。 ・植生の復元を促すため大型土のうを植生機能を持った製品を販売している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15						17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・年一回くま川鉄道駅周辺の除草作業に従事している。 ・地域の祭り等への参加で地域住民との親睦を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・母体の建設と定期的な避難訓練に参加している。 ・現場からの緊急要望に対応するための大型土のう袋、耐候性大型土のう、塩化カルシウムを在庫している。				4							11.5		13.1						16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・現場からの緊急要望に対応するための大型土のう袋、耐候性大型土のう、塩化カルシウムを在庫している。	1.5		3	4						10.2	11.5			13.1					16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・流出油対策商品の販売をしている。(TEK(油分解剤)PIGマット、マジックファイバー) ・ヘルメット、安全帯、救命ベスト、ゴムポート等の販売している。 ・ブルーシート、土のう袋、大型土のう、耐候性大型土のうを販売している。									9		11	12		13.1									
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・2021年7月より肥後銀行サステナビリティ推進室の指導を仰ぎ味噌建設企業グループでSDGsの普及促進を目指す活動に参加し、社員への共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2											17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6													17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15						17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。